

全体評価

項目別評価

大項目

H30年度評価

全体として、中期目標・中期計画の達成に向けて概ね順調であると認められるが、「最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成」については、なお一層の努力が必要、「自立した経営」については、引き続き努力が必要である。

大項目4項目のうち、
 ○2項目(「I 患者にとって最適な医療の提供」「II 県民の健康維持への貢献」)は、中期目標・中期計画の達成に向けて「順調に進んでいる」と評価
 ○1項目(「III 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成」)は、職員満足度が中期目標最終年度の目標を達成せず、課題の把握・検証を行い改善を図る必要があることから「やや遅れている」と評価
 ○1項目(「IV 自立した経営」)は、経常収支が昨年度より低下したものの、奈良県立病院機構改革プランを上回る状況。また、職員の中期目標・中期計画の理解度が改善を図る必要があることから「概ね順調に進んでいる」と評価

I 患者にとって最適な医療の提供

H30年度評価

IV 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

中項目10項目中、2項目をS、7項目をA、1項目をBとしたことを勧奨

II 県民の健康維持への貢献

IV 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

中項目5項目中、4項目をA、1項目をBとしたことを勧奨

III 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成

II 中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている

中項目2項目中、1項目をA、1項目をBとしたことを勧奨

IV 自立した経営

III 中期目標・中期計画の達成に向けて概ね順調に進んでいる

中項目4項目中、1項目をS、2項目をA、3項目をBとしたことを勧奨

中項目	取組項目	評価実績					自己評価	県評価	考慮した主な目標指標・取組
		H26	H27	H28	H29	H30			
1 全職員が一体となって中期目標を達成	① 中期目標の達成に向けて、全職員が一体となって取り組む組織文化を醸成	B	B	B	B	B	B	・職員の中期目標・中期計画の 目標未達成 (③0目標:100%を目指す→③0 60%)	
2 患者が満足する医療サービスの提供	① ホスピタリティマインドの向上 ③ 患者が治療に専念できる環境の充実 ② 患者に対する適切な医療情報の提供	A	A	A	A	A	A	・患者満足度「 病院への満足 」が 高水準を維持 (入院②96%→③0 92.6% 、外来②79%→③0 78.4%)	
3 断らない救急の実現	① 受入体制の構築 ③ 院内後方支援・連携体制の整備 ② 人材の確保、育成	A	A	A	A	S	S	・ 救急車搬送受入率が総合で上昇(県内最高) (総合②93.3%→③0 94.4% 、西和②73.2%→③0 74.1%)	
4 質の高いがん医療	① 手術療法、放射線療法、化学療法などのがんの集学的治療の提供 ③ 地域がん診療連携拠点病院としての機能の発揮 ② 早期がんだけでなく他病院で診ることができない進行がんにも対応 ④ 人材の確保、育成	A	A	A	A	S	S	・(総合)院内がん登録患者数(年間)が 増加 (②1,272人→③0 1,655人) ・(総合)放射線治療装置を2台に 増設 ・(西和)低侵襲消化器がん治療センターの専任センター長の配置による体制の強化等	
5 周産期医療体制の強化	① 24時間365日のハイリスク妊産婦・新生児の搬送受入を可能とする体制の強化 ② 西和医療センターにおける産科の再開	S	A	A	A	A	A	・ ハイリスク妊婦及び新生児の県内搬送率が高水準の維持 (妊婦②97.6%→③0 97.1% 、新生児②99.3%→③0 99.3%)	
6 小児医療体制の整備	① 小児救急機能の強化 ③ 地域の他病院との連携の強化 ② 人材の確保、育成	A	A	A	A	A	A	・ 小児患者の救急搬送受入率が維持・上昇 (総合②93.9%→③0 94.4% 、西和②89.4%→③0 89.0%)	
7 リハビリテーション機能の充実	① 急性期については総合・西和において、回復期にかけてはリハにおいて役割を担当 ② 発達障害児に対する感覚統合療法の充実 ③ 障害児(者)に対する外科的治療の充実	A	A	A	A	A	A	・(リハ)在宅復帰率が 上昇 (②88.6%→③0 90.1%) ・ 運動器リハ実施件数が増加 (②82,564件→③0 86,309件)	
8 高齢者を対象とした医療体制の整備	①【運動器】法人内の病院における役割分担 ③【糖尿病】人材の確保、育成 ②【糖尿病】チーム医療の活動強化 ④【糖尿病】地域の医療機関へのサポート	A	B	A	A	A	A	・(西和)人工関節センターの運営 ・(リハ)ロコモシンドローム公開講座を開催(3回)	
9 医療安全・院内感染の防止	① 法人における医療安全管理体制の確立 ② 3病院合同の事例検討発表会の実施	A	A	A	A	A	A	・患者満足度「 安心して医療を受けられたか 」が 上昇 (入院②92%→③0 93% 、外来②82%→③0 84%)	
10 新病院整備の推進	① 新総合医療センターの整備 ③ 看護専門学校統合校の整備 ② 新西和医療センターの整備等 ④ 3病院共通の電子カルテシステム整備	B	B	B	A	A	A	・ 新総合医療センターがH30.5開院	
1 県内の医療機関との連携・協力体制の充実	① 地域医療支援病院としての機能強化 ③ 地域包括支援センターとの連携強化 ② 退院調整会議の充実	A	A	A	A	A	A	・紹介率・逆紹介率は、 総合は維持・上昇 、西和は 上昇 (紹介率:総合②60.2%→③0 73.3% 、西和②58.7%→③0 71.6%) (逆紹介率:総合②105.1%→③0 90.0% 、西和②82.7%→③0 103.2%) ・ 退院調整会議の開催回数は増加 (②5,368回→③0 7,474回)	
2 県内の医療レベル向上に向けた支援	① 教育研修センターにおいて県内の医療機関に開放した研修の実施 ② 県内の医療機関への施設・設備の開放	A	A	A	A	A	A	・ 県内医療機関の医療従事者向け研修を継続実施	
3 災害医療体制の強化	① 災害対応体制の充実 ③ 災害発生時における県との円滑な連携 ② 人材の育成 ④ 新病院における感染症病床の整備、受入体制の構築	A	A	A	A	A	A	・災害訓練を実施(③0総合3回、西和3回、リハ2回) ・ DMAT隊員は目標を上回る配置 (③0 33人(目標20人))	
4 県民への医療・健康情報の提供	① 臨床指標を含む情報の公開・発信 ③ 公開講座の実施 ② 広報担当者の配置	A	A	A	A	A	A	・ 県民向け公開講座回数(8回)は目標(6回)を上回る	
5 県が実施する健康長寿のまちづくりへの支援	① 平松周辺地域でのまちづくりへの参画 ② 西和地域でのまちづくりへの参画	B	B	B	B	B	B	・(西和)在宅療養支援室を運用 ・ マイ健康カードの導入は具体的な検討に至らず	
1 最高レベルの医の心をもった人材の確保、育成	① ホスピタリティマインド醸成研修の実施 ② ワークライフバランスの実現	A	A	A	B	B	B	・患者満足度「 患者の気持ちを理解しようとしたか 」が 高水準を維持 (入院②91%→③0 94% 、外来②79%→③0 82%) ・職員満足度「 仕事のやりがい 」「 WLB配慮 」が 目標未達成 (仕事やりがい③0目標:90%以上→③0実績: 53% 、WLB③0目標:90%以上→③0実績: 57%)	
2 最高レベルの医の技をもった人材の確保、育成	① 教育研修センターの設置と充実 ② 看護専門学校の教育内容、教育体制の充実	A	A	A	A	A	A	・ 専門医数、認定看護師数が増加 (後期研修医②31人→③0 34人 、専門医②137人→③0 219人)	
1 権限と責任を明確にしたガバナンス体制の確立	① 経営企画機能の強化 ② 中期計画・年次計画の適正な実施	A	B	A	A	A	A	・3病院合同会議(10部門)、病院毎の幹部会議等を開催 ・県主催の運営検討会議を通じ、経営分析・戦略を検討・議論	
2 経営に対する責任感をもって業務改善に取り組む組織文化の醸成	① 組織アイデンティティ・ロイヤリティの確立 ③ 成功を認め、讃える組織文化の形成 ② 法人に関する情報の発信・共有による経営参画意識の向上支援	B	B	B	B	B	B	・職員の中期目標・中期計画の 目標未達成 (③0目標:100%を目指す→③0実績: 60%)	
3 医療制度等の変化への迅速・柔軟な対応と自立した財務運営	① 経常収支比率を高い水準で維持 ② 内部留保を確保	C	C	C	A	A	A	・経常収支比率が 目標達成 (総合③0目標:79.2%→③0実績: 97.0%) (西和③0目標:100.3%→③0実績: 101.7%) (リハ③0目標:97.9%→③0実績: 97.9%)	
4 奈良県立病院機構改革プランを着実に実行	① 民間的経営手法の導入 ④ 収入増加・確保対策の実施 ② 事業規模・事業形態の見直し ⑤ 経営改善に関する他の取組実施 ③ 経費削減・抑制対策の実施 ⑥ 再編・ネットワーク化の検討	—	—	—	A	S	S	・経常収支比率が 目標達成 (③0目標:86.1%→③0実績: 98.1%) ・(総合)医薬品の価格交渉を行い 薬品比率増加を抑制 ・(リハ)適正な診療報酬の請求、未収金発生防止及び回収強化等	